

-2017年度 農村女性縫製団体 (AVS) の活動-

4月3日農村縫製コース開講式

2017年度、AVSの活動が始まりました。

4月3日月曜日にさっそく、アラハバードのカンジャサ村とハルディ村の2つの農村で縫製基礎コースの開講式が行われました。

この70日間の縫製基礎コースは、農村女性の農作業時期などの長期休みをはさんで4月から7月まで実施します。参加者はここで衣服などの基本的な縫い方を学び、現地女性の衣服サルワクルタやサリーのブラウス、ペチコートなどの縫い方を学び、日常生活に役立てます。

さて、前週の募集時は各村20名前後から参加すると申し出がありましたが、、、開講式当日は今年の麦収穫の農作業多忙時期になってしまい、開講式にきた参加者はそれぞれ10人と5人程度でした。それでも、暑い中、また農業で忙しい中来てくれた参加者には感謝です。



カンジャサセンターの開講式



ハルディセンターの開講式



マキノスクール学部長の三浦より挨拶



AVS スーパーバイザーのルマ・ニシャドから授業のルール説明

カンジャサセンターではおよそ半数が学校に通った事がないとの事でした。当地農村でも学歴が重視されつつある中、女の子だからと親が学校に行かせてくれないこともあるようです。(当該農村では女性が働ける職場が限られており、さらに結婚のときは女性側が多額の持参金を支払わなくてはならない背景があります。) それだけにここで裁縫という技術をしっかり学んでほしいです。そしてできればその後、上のコースまで修了して AVS のメンバーとともに商品作りできるようになり、自分で稼げる手段を身に着けさらなる自信につなげてくれればと思います。

AVS の主だった今年度の研修計画としては、この後同2村で上級コース、その後マキノスクールでハンディクラフト（販売できる縫製製品製造）コース実施の他、追加導入する工業用ミシンの使用訓練、日本人デザイナーのデザイン指導等やデリー・デラドンへ縫製関連施設見学を予定しています。これらの計画はアーシャを通じた支援者の方々のご支援と、日本国際協力システム（JICS）の NGO 支援助成金のおかげで実施できる予定です。皆様ご支援ありがとうございます。